

この よう な 審 議 が あ り ま し た

予算特別委員会

● 一般会計予算

B & Gプール改修に
8500万円

歳入歳出予算総額を、それぞれ4億600万円とするもので、前年比8800万円、2%の増。

歳入では村税が13億400万円、前年比4.6%の減。地方交付税が16億500万円、前年比6.6%の増。村債は4億8600万円、前年比19.8%の増など。
歳出では、普通建設事業が3億7900万円、前年比56.7%の増。補助費等が7億5200万円、前年比2.4%の増。公債費は6億7400万円、前年比5.4%の減など。

総務課

地域公共交通会議の補助金終了に伴い、負担金の支出は2200万円の減額。姉妹都市提携30周年となる河津町との記念事業に200万円。

基幹系システム、戸籍システムのサーバーを大北管内市町村で共有化したことにより1900万円の経費を節減。消防費は小型ポンプ付積載車1台更新に600万円、北アルプス広域連合負担金300万円増など。

問 消防費で消火栓の負担と設置工事費の関係は

答 消火栓の管理は水道事業に委託しているので、

水道事業会計に150万円を支出し、各地区からの要望により優先順位を決めて設置している。補助率は5分の4で40万円が上限で、3基分120万円を計上しています。

問 ケーブルテレビ白馬管理運営事業とは具体的に

に何か。

答 電柱添架使用料は54万4千円で契約者は村であるので、村が中部電力とNTTへ支払い、後からケーブルテレビ白馬が村へ支払うかたちとなります。

問 職員の県への研修派遣とは何か。

答 地方税滞納整理機構に1名、観光部に1名を派遣。期間はそれぞれ2年と1年です。

問 姉妹都市提携事業河津町との30周年事業とは何か。

答 イベントを行うが詳細は未定。河津町訪問の村民ツアーを予定しています。

建設水道課関係

平成23年度策定の橋梁長寿命化計画により、平成24年度は楠川橋等の修繕工費が2800万円。また村道改良起債事業に7800万円。

問 橋梁の長寿命化計画とは。

答 国の施策であり、橋梁を全部点検し点数化したうえで、点数の高い順に緊急性の高いものは5年以内に修繕し、その他は10年から15年で実施。5年に1回点検しないと国の補助が受けられせん。

問 地域役員懇談会で出された道路改良の要望事項は。

答 独自の選定基準を設けて点数化し、点数の高いものから緊急性、優先度を評価して実施。9路線の整備を予定しています。

問 道路照明灯の費用は。

答 内山、佐野、沢渡、三日市場地区の通学路の街灯をLED化することで経常経費の節減を図ります。

環境課

清掃費が前年比2100万円の増。これは白馬山麓施設組合負担金の増によるもので、クリーンコスモ姫川の設備補強工事のため。地球温暖化対策で太陽光発電装置の設置に対する補助金が120万円。

問 太陽光発電の補助金とは。

答 国が出資する財団からの補助金1キロワットの4万8千円に上乗せして1キロワット3万円、上限12万円を補助。

問 廃屋対策の補助金とは。

答 規格により3段階あり、100㎡未満20万円、100㎡〜200㎡未満40万円、200㎡以上80万円、1件あたり上限80万円。

税務課

賦課収納業務電算委託料が1131万3千円で、固定資